

## 【プロジェクト報告】

# 「YGU グローバル・エキスパート認定」

## — 2023 年度の報告 —

金丸 巧・原 百年・劉 頌浩

本稿は、2023年度における「YGUグローバル・エキスパート認定」の取り組みを報告するものである。まず、2022年度から2023年度前期にかけてどれくらいの学生が認定ポイントに到達したか、その推移を概観する。続いて、2023年6月に行われた表彰式について報告する。さらに「YGUグローバル・エキスパート認定」受賞者のインタビュー結果を掲載し、最後に、2024年度に向けた展望を述べる。

キーワード：国際交流， イベント， グローバル人材， 表彰制度

### 1. 2022年度から2023年度前期までの認定ポイント到達者の推移

「YGUグローバル・エキスパート認定」（以下、「グロエキ」）の制度<sup>1)</sup>は2022年度から始まり、既に1年半が経過している。以下、どれだけの学生が認定ポイントに到達したか、学生数の推移を見ていく（表1を参照）。2022年度は、到達者が10名であった。「ルーキー」が10名で、内2名が「ジュニア」に到達した。2023年度は、前期終了の時点で19名が「ルーキー」に到達した。19名の内4名「ジュニア」に到達したが、いずれも2022年度生であった。

表1 「ルーキー」「ジュニア」到達者の推移

年度	ルーキー	ジュニア	受賞者数
2022年度	10名 ※内2名はジュニア到達	2名	10名
2023年度前期	19名 ※内4名はジュニア到達 ※2022年度生17名、2023年度生2名	4名 (2022年度生)	19名
			累計29名

2022年から2023年前期までに累計29名が認定ポイントに到達したことになるが、特筆すべきは、2022年度は一年間で10名のみだったのに対し、2023年度は前期だけで19名が認定ポイントに到達したことである。2022年度生と2023年度生が合算されるので当然到達する数が増えるのだが、着実に数を増やしていることが分かる。

次に2023年度前期の進捗を更に詳しく見ていく。2023年度前期の「ルーキー」到達者19名の学部別内訳は、以下のとおりである。法学部4名、経営学部14名、スポーツ科学部1名であった。19名中、日本人学生は10名、留学生が9名であった。19名中4名が「ジュニア」に到達したが、その内訳は、法学部2名、経営学部2名であった。4名中1名が日本人学生、3名が留学生で、いずれも

2022年度生であった。2023年度前期の認定者数内訳を見ると、留学生の比率が大きいことが分かる。留学生のほとんどが経営学部にも所属しているということもあるが、経営学部の学生が突出して多く到達していることも分かる。

## 2. 2022年度「YGUグローバル・エキスパート認定」表彰式

2023年6月12日、クリスタルタワー7階の広報スタジオにて、2022年度「グロエキ」の表彰式が開催された。2022年度は当該制度の初年度であり、合計10名の学生が認定書を授与された（図1）。「ルーキー」が10名、その内2名が「ジュニア」に到達した。表彰された学生たちは、語学科目や国際共修科目などの正課科目、グローバルラーニングセンター（以下、GLC）や国際交流センターで企画された学内の国際イベント、語学試験の受験、海外留学などを通じて、意欲的に国際的な活動の実践を積み重ねた。その結果が「ポイント」という形で可視化され、表彰されたということは、この制度の目的からして意義深いものであった。

表彰式では、GLCの齊藤眞美センター長より「グロエキ」制度の概要の紹介が行われ、青山貴子学長より認定証が学生たちに授与された（図2）。青山学長は学生たちの優れた成果と努力を称え、今後、異文化への理解をさらに深め、本学の国際交流においてリーダーシップを発揮してもらいたいと受賞者を激励した。受賞者を代表して岡本伊織さん（法学部2年）と金弘一さん（スポーツ科学部2年）が挨拶し、「グロエキ」の活動を通して学んだことを述べ、今後も引き続き努力し続ける決意を示した。

「グロエキ」表彰式は、学生たちの努力と優れた成果を称えるだけでなく、本学における全学国際化の促進を示す重要なイベントとなった。今年も行われる予定の表彰式では、更に多くの受賞者が出ることを期待される。



図1 受賞者10名の記念写真



図2 青山学長による認定書授与

## 3. 2022年度「YGUグローバル・エキスパート認定」受賞者インタビュー

2023年11月17日、2022年度「グロエキ」受賞者へのインタビューを実施した<sup>2)</sup>。インタビューでは、2022年度に「ルーキー」または「ジュニア」に到達した学生3名に協力してもらい、これまでの活動の様子や「グロエキ」制度への思い、今後の抱負などを聞いた。3名のプロフィールは表2の通りである。3名には、事前に協力内容を説明し、同意を得た上でインタビューを行った。尚、紙幅の関係上、全員の回答やインタビュー全文を掲載することが難しいため、要約したものを選択的に掲載した。また、発言順も表2の順番と揃えているため、実際の順番とは異なっている。要約の作成に当たっては、インタビュー記録を文字化した後、執筆者らによる内

容の補足、修正等を行った上で、再度インタビュー協力者に内容を確認してもらった。

表2 インタビュー協力者

	学生	学年	学部	日本人学生／留学生	2022年度到達ランク
1	Aさん	2年	法学部	留学生	ルーキー（80ポイント）
2	Bさん	2年	法学部	日本人学生	ルーキー（80ポイント）
3	Cさん	2年	経営学部	留学生	ジュニア（150ポイント）

**質問1 2022年度どのような「グロエキ」対象活動に参加したか。**

A：私は、語学の授業で多くのポイントをもらいました。例えば、「アカデミック日本語IA／IB」を履修しました。それから、英語の授業も履修してAの成績をもらって、ポイントももらいました。また、English Cafeのイベントや10月に行われた「Korean Week」、6月に行われた「山梨学院幼稚園多文化交流会」や山梨学院小学校での「書道交流」にも参加してポイントをもらいました。イベントの参加が多かったです。

B：私は、英語などの授業は履修していなくて、全てイベントでポイントを獲得しました。というのも、1年生の頃は英語や異文化といったことにアレルギーがありました。それで、自信が無くて、避けるように授業を履修していました。でも、せっかく大学生になったんだからという気持ちが出てきて、頑張ってみようかなという思いでイベントに参加し、受賞することができました。

C：私は、Aさんと一緒にイベントに参加しました。English Cafeや小学校のイベントに参加してポイントを取りました。授業では、日本語の授業や「資格英語（TOEIC）IA／IB」等の授業を履修しました。

**質問2 学内の国際的な活動の機会に参加しようと思ったきっかけや理由は何か。**

A：私は、大学に入って、新しい自分を探したいという考えを持って異文化のイベントに参加しました。実際、イベントに参加して、やっぱり人と話すことが自分は好きだということが分かりました。それはうれしいことです。また、大学に進学したら、遊ぶではなく、勉強は重要だと思って、言語のスキル、勉強のスキルも自分にとって大切だと思って授業を履修しています。もっと成長したい、本当の大学生になりたいという思いで授業を履修しました。

C：私は、入学したとき友達が一人もいなかったんです。私は友達を作りたいので色々なイベントに参加した方がいいと思いました。また、日本語と英語の力があまり高くないのもっと練習したいと思いました。色々なイベントに参加して、たくさん良い友達ができ、今は1年前と比べて成長したと思っています。

**質問3 「グロエキ」制度に対してどのような考えを持っているか。**

A：私は、偉い理由（特別な理由）がなくて、たくさんイベントに参加することで、自分の成

長や、文化の体験ができるということと、自分が成長できる上に褒賞金がもらえる。それがもっと嬉しく思って、なんでやらないのかと思います。※（ ）内は筆者追記

B：私はこの制度があったからこそ一歩を踏み出せたかなと思っています。この制度があって、「あ、ちょっとこの制度に参加してみたら、何か変わるかもしれない」という気持ちになったので、この制度に感謝しています。いろいろな交流が増えたんで。

#### 問4 今後の学内の国際的な活動の機会をどのように活用していきたいか。

A：私は今2年生で、これから就職か大学院かを考えなければなりません。自分のこれからのことを考える上で参考になるようなイベントに参加していきたいです。そして、語学の授業も頑張ってる履修しています。

B：私は、「異文化に慣れる」という目的をもって、強い心を持って取り組んでいきたいと考えています。やっぱり異文化に慣れれば、言語力も付いてくると思いますし、ここで培った経験、留学生の持つ文化を共有したことは、将来にも絶対に生きてくると思いますから、異文化理解の入り口と位置付けて頑張っていきたいです。

C：私は卒業して日本で就職したいので、自分の日本語能力、英語能力が必要です。そして、コミュニケーション能力も大切です。日本で就職したいですけど、グローバルな会社で働きたいです。そして、いつも心の中でサポートの仕事をしたと思っていますので、国際交流のイベントに今から参加して将来に向けたステップを進めていきたいです。

#### 4. 今後の展望

2023年6月の表彰式では10名の学生が表彰され、2023年前期までに累計29名の学生が認定ポイントに到達した。全学国際化を進める本学において、それ自体は評価されることである。一方、累計29名という数が対象学生（2学年約1,600名）の2パーセントに満たないことを考えると、成果は限定的だったと言わざるを得ない。2024年度で運用3年目を迎える中、この制度に意義を見出し、自律的に参加することでポイントを積み重ねていくことができる活用者を増やしていくような方策が必要となろう。

受賞者のインタビューを通じて分かったのは、自己成長や異文化交流を求めている学生たちにとって、様々なイベントが絶好の機会かつ良い活動の場になっていたということである。異文化交流をしたいと思っている学生は潜在的には多くいると思われる。イベントの周知や参加への勧誘を効果的に行うことにより、より多くの学生を喚起・誘導することが望まれる。

#### 注

- 1) 「YGUグローバル・エキスパート認定」の制度については、山梨学院大学グローバルラーニングセンターHPを参照されたい。<https://www.ygu.ac.jp/glc/expert>
- 2) インタビューは、受賞者3名と本稿執筆者3名でオンライン（ZOOM）にて実施した。